

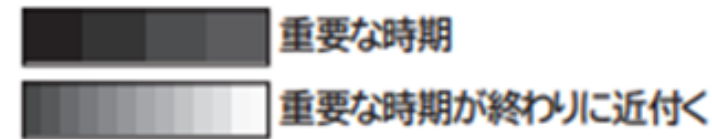
乳幼児期の大切な発達

子どもたちの育ちには黄金期（育ちの最盛期と終わりに近づく時期）がある。幼児期の心身の発達に関して国際的に研究が加速しており世界中で注目されている。

- ① 両目の視覚 0歳から3歳までが色彩感覚を育む黄金期・5歳で終わりに近づく
- ② 情緒の抑制 感情のコントロール・6カ月から4歳頃まで5歳で終わりに近づく
- ③ 習慣的な感応 6カ月から3歳半ごろまでが重要な時期。5歳で終わりに近づく
- ④ 仲間との付き合い お友だち関係の構築は3歳から始まり5歳半頃までに土台ができる
- ⑤ 言語 6カ月から4歳頃までが黄金期。その後7歳頃まで緩やかに発達
- ⑥ 象徴化 1歳半から3歳にかけてが認知の黄金期
- ⑦ 量的相対化 数量の認知。4歳から6歳にかけて発達

脳の発達で重要な時期 (ユニセフ世界子ども白書より)

- ① 両眼の視覚
- ② 情緒の抑制
- ③ 習慣的な感応
- ④ 仲間との付き合い方
- ⑤ 言語
- ⑥ 象徴化
- ⑦ 量的相対化



(ドハーティー、1997年から)

資料：M・マッケーンとF・マスタード、『真の頭脳流出をなくす：幼少期研究』、オンタリオ、1999年4月、31ページ。

